

## USPTOによる人道支援プログラムに関する特許法改正法案に大統領が署名

2022年12月20日  
JETRO NY 知的財産部  
石原、福岡

2022年12月20日、USPTOが人道的課題を解決するイノベーターを表彰するプログラムである「Patents for Humanity」を法定化するための特許法改正法案（Patents for Humanity Act of 2022）にバイデン大統領が署名し、法律として成立した<sup>1</sup>。

改正により新たに特許法に規定された主な内容は以下のとおり。

- 人道的課題を解決するイノベーターを表彰するためのコンペティションを設立し、少なくとも2年に1度開催すること。
- 受賞者には特許出願、査定系再審査（Ex Parte Reexamination）の手続において早期審査を受けることができる証明書を発行すること。
- 今回の法律により設立されるコンペティションは、USPTOが既に実施している Patents for Humanity の後継として扱われること。

USPTOが現在実施している Patents for Humanity では、参加する特許権者またはライセンシーは自社の特許技術を用いて恵まれない人々のためにどのように人道的課題に取り組んだかを説明する応募書類を提出する。世界的な課題に関する5つのカテゴリーが対象となっている。

- ① 医薬品、ワクチン、診断薬、医療機器などの医療関連技術。
- ② 栄養価の高い食品、食品の保存方法、調理方法などの栄養改善の技術。
- ③ 清潔な水、廃棄物処理、大気汚染への対応などの生活を改善する技術。
- ④ 生活に必要な電力を貧しい家庭や地域社会に供給する技術。
- ⑤ 識字教育、通信環境などの貧しい人々の生活を向上させる技術。

また、パンデミック時には COVID-19 に関連する技術がカテゴリーに追加<sup>2</sup>され、2022年12月15日に受賞者が発表された<sup>3</sup>。

応募方法の詳細、審査の基準、過去の受賞技術については、USPTO のウェブサイト<sup>4</sup>において案内されている。

（以上）

<sup>1</sup> <https://www.congress.gov/bill/117th-congress/house-bill/5796>

<https://www.congress.gov/117/bills/hr5796/BILLS-117hr5796enr.pdf>

<sup>2</sup> <https://www.uspto.gov/ip-policy/patent-policy/patents-humanity-covid-19>  
COVID-19のカテゴリーへの応募は2021年9月30日に終了している。

<sup>3</sup> <https://www.uspto.gov/blog/director/entry/recognizing-life-saving-covid-19>

<sup>4</sup> <https://www.uspto.gov/ip-policy/patent-policy/patents-humanity>